



# おにクルでつくる はじめてのマルシェ

## 第1回 ちょっと先行く先輩に学ぼう



### 開催概要

2025.7.19 (土)  
14:00～16:00  
会場  
茨木市・文化子育て複合施設  
おにクル7F 市民交流スペース  
参加者数 16名

### プログラム

1. はじめに
2. 自己紹介time
3. 講座の案内
4. ちょっと先を歩く先輩に学ぼう  
安田佳奈さん  
奥川純子さん
5. トークセッション
6. ワーク
7. 感想を共有
8. 終わりのあいさつ

### 共同開催：

茨木市  
茨木市文化・子育て複合施設おにクル（指定管理者 おにクルみらい）  
茨木市市民活動推進センター きゃぱす（指定管理者 いばらき市民活動推進ネット）

### ■ おにクルだからこそ作れる「マルシェ」を

茨木市共創推進課 松井佑梨子

オープン以来、多くの方にご来場いただいているおにクル。吹き抜けの「縦の道」や自由に使えるオープンスペースなど、訪れる人に発見や出会いをもたらす仕掛けが施されています。そんなおにクルを舞台に、マルシェを開催してみたい方を対象にした講座を開催することになりました。「マルシェをつくる人と訪れる人の出会いから、素敵な時間が生まれる」そんな場を、皆さんと一緒に学びながら育てていきましょう。

### ■ マルシェをしたい人にヒントを与える講座

茨木市市民活動センター きゃぱす 五宝美奈子

おにクルのオープンスペースでは、想像以上に多くの方がマルシェを出店しています。出会いや活動がさらに広がるマルシェをつくるには、具体的に何が必要だろうーそんな思いから、この講座は生まれました。はじめたばかりの方、これから挑戦したい方へ「学びの場」としてのマルシェを、一緒に考えてみませんか？

はじめてのマルシェ 大切にしたいキーワード

はじめて  
ワクワク

楽しみながら  
主体的に  
チャレンジして  
みよう！

ストーリー  
(思い)

なぜやりたいのか  
思いを見つめ  
発信しよう

つながり

参加者同士の  
つながりの中に  
活動のヒントがあるかも  
常にアンテナを  
張ってしよう！

### ■ 「何かが起こり、誰かが出会う」オープンスペース

サントリーパブリシティサービス株式会社 道場 裕

おにクルのオープンスペースにはそれぞれ個性がありますが、共通するコンセプトは「来館された方すべてに開かれた場」であること。目的がある人もふらっと立ち寄った人も、思いがけない出会いや体験ができる場所です。とくに利用者が多い「マルシェ」をもっと魅力的にするために、皆さんと一緒に学び合っていければと思います。

## ちょっと先を歩く先輩に学ぼう

第1回は皆さんの一歩先をいくマルシェの先輩方に、貴重な経験についてお話をいただきました。

### 仲間と作ってきた“自分たち”のマルシェ



yanco de hanco  
安田佳奈さん

「参加者の方々から元気をも  
らいました！私も頑張ります」

消しゴムハンコ作りを15年にわたり続けている安田佳奈さんは、当初は一人で活動をしていました。幼稚園での講座をきっかけにワークショップに誘われたことが、マルシェ出店の第一歩。その後、同じくハンドメイドに取り組む仲間たちと出会い「Cinque Amiche（5人の女友達）」というグループを結成しました。ところが、いざ共同出店を始めると、子どもの預け先、出店料の負担、備品の準備、値段設定など、さまざまな課題が浮上。その都度メンバーで話し合い「子ども連れ、ドタキャンOK」「共同で備品を購入」といった独自ルールを作って、一つ一つ解決してきたそうです。その後は自主開催のマルシェも始め、場所の手配からチラシ作りまですべて自分たちで行い、経験を重ねてきました。5人それぞれが活動の幅を広げた今も、情報共有をしながらつながっています。参加者へは「最初から大成功しなくても大丈夫！仲間と楽しみながらチャレンジして」と語りました。



### 「やってみたい」が原動力。継続も大切！

Craft Studio Hanna  
奥川純子さん



「ここで出会えた皆さんが  
マルシェを楽しめますように！」

粘土クラフト講師として活動する奥川さん。2010年に講師の資格を取得後、子育てが一段落したタイミングでおいクルに出会い、ワークショップを始めました。「誰でも・短時間で参加できる」ワークショップを模索しながら、現在では2〜3か月に一度のペースで継続的に活動しています。オープンスペースは教室と違い、ふらっと訪れる人たちとの偶然の出会いも楽しめる場。短時間の体験でも「粘土でこんなことができるんだ！」と、新しい発見に喜んでいる様子が嬉しいのだそうです。自然な人の流れの中で生まれる出会いや対話が楽しく、次回への意欲につながっていると語ります。活動を続ける中、きやぱすスタッフとの

対話を通じて、目標が見えてきたといいます。「“粘土といえば、ハンナさん”と思ってもらえるような存在になりたい」。無理なく楽しく続けることが一番難しく大切だと語る奥川さん。「ぜひ一歩を踏み出して」と参加者へエールを送りました。



## トークセッション



お二人のお話のあとは、参加者の皆さんからの質問タイムです。値段に関しては「高いものがあると安いものの価値が際立つ。手ごろな価格の商品を見やすい場所に置くと、お客さんの心的ハードルを下げられる（安田さん）」という実践的なアドバイスに一同納得。

ワークショップで初めてハサミを使う子どもと、それを見守る母親の姿に感動したエピソードや、お客さんに顔を覚えてもらった経験など「人と人とのつながり」こそマルシェの醍醐味だという話が印象的でした。

商品のタグやラッピングといった“こだわり”については「作品に納得できるよう、ときにはコストをかける勇気も必要。自分の芯はぶらさず、柔軟さも大切（奥川さん）」と、先輩ならではの言葉で締めくくられました。

## ワーク「マルシェを妄想してみよう！」

講座の最後は、将来マルシェでやってみたいことや自身のこだわりについて考えるワークです。未来のマルシェをイメージしながら、今日の「ワクワク」した気持ちを言語化してもらいました。最後にはグループごとに、今日の感想を共有。皆さんの熱気も冷めやらぬ中、講座が終了しました。

## おわりに

茨木市共創推進課 課長代理 山脇知郎

今日のお話は、「いち市民」として何かを始めたいと考え一歩を踏み出された方々の実体験のお話で、皆さんにもイメージしやすかったと思います。印象的だったのは「とりあえずやってみる」という姿勢。「やってみて、必要があれば変えていく」という柔軟な考え方は、私たちがおいクルに込めている想いとも重なります。講座をきっかけに、皆さんがそれぞれの一歩を踏み出せるよう応援しています！



次回：8月2日（土） 14:00~16:00 「発信するコトを考えよう」 講師 神崎英徳さん（PRリンク株式会社代表）